

島根労働局発表
令和元年8月29日(木)

職業安定部職業安定課
担当 課長 大野 正幸
地方職業安定監察官 景山 昭治
TEL 0852-20-7019

平成30年度 ハローワークのマッチング機能に関する業務の 評価・改善の取組結果を公表します

厚生労働省では、平成27年度からハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善を拡充し、マッチング機能に関する業務の総合評価および評価結果等に基づく業務改善の取組を実施しています。

このたび、島根労働局（局長 ^{たむら かずみ} 田村 和美）では、平成30年度における県内ハローワークの評価結果等を取りまとめましたので公表します。

なお、島根労働局・ハローワークでは、評価結果等を踏まえ継続的な業務改善に取り組み、求人者・求職者サービスの一層の向上に努めます。

1 平成30年度の評価結果

ハローワーク	グループ区分	総合評価類型	
松江	グループ5	類型2	良好な成果
浜田	グループ11	類型3	標準的な成果
出雲	グループ8	類型2	良好な成果
益田	グループ10	類型1	非常に良好な成果
雲南	グループ10	類型2	良好な成果
石見大田	グループ10	類型2	良好な成果

(注1) 全国のハローワークを労働市場の状況や業務量が同程度の11グループに分類したうえで、同じグループ内で成果を比較し、次の4つの類型に分けて評価します。(別添1参照)

類型1：非常に良好な成果、類型2：良好な成果、類型3：標準的な成果

類型4：成果向上のため計画的な取組が必要

(注2) 出張所の取組は、本所（隠岐の島・安来出張所は松江、川本出張所は浜田）に含みます。

2 ハローワーク別の取組状況

別添2の「就職支援業務報告」とおりです。

平成 30 年度ハローワークのマッチング機能に関する業務の総合評価結果

1 評価方法について

全国ハローワークを労働市場の状況や業務量が同程度の 11 グループに分類したうえで、全ハローワークに共通する評価項目とハローワークごとの重点的な取組項目の目標達成状況等を厚生労働省において、同じグループ内で成果等を比較し 4 つの類型に分けて評価します。

(1) 評価項目

全ハローワークに共通する評価項目	主要指標	就職者数、求人充足数（受理地）、雇用保険受給者の早期再就職者数
	補助指標	満足度（求人者）、満足度（求職者）、紹介成功率、求人に対する紹介率、求職者に対する紹介率
ハローワークごとの重点的な取組項目	所重点指標	地域の雇用に関する課題等を踏まえ、グループごとに 3 ～ 5 項目を設定（例：障害者の就職件数など）
	所重点項目	その他の継続的な業務改善の取組等 （例：職員による事業所訪問の実施など）

(2) 総合評価の類型

類型 1	非常に良好な成果
類型 2	良好な成果
類型 3	標準的な成果
類型 4	成果向上のため計画的な取組が必要

2 評価結果について

ハローワーク	グループ別	総合評価の類型	
松江	グループ 5	類型 2	良好な成果
浜田	グループ 11	類型 3	標準的な成果
出雲	グループ 8	類型 2	良好な成果
益田	グループ 10	類型 1	非常に良好な成果
雲南	グループ 10	類型 2	良好な成果
石見大田	グループ 10	類型 2	良好な成果

(注) 出張所の取組は、本所（隠岐の島・安来出張所は松江、川本出張所は浜田）に含みます。

(参考) ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価改善の取組（概要）については別紙のとおりです。

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、各指標の達成とりわけ就職件数の向上のためには、職員が求人情報以上の事業所情報を得ることが重要であることから、「職員による事業所訪問」の目標達成を最重要と位置づけ、重点的に進めた結果、月 1 回以上職員の事業所訪問を行いました。

この取組により収集した情報は職員間で共有することはもとより、若手職員に事業所へのアポイントメント等を行わせることが、人材育成にも繋がる取り組みとなりました。

また、鳥取県との県境を跨いだ合同面接会を当所の出張所であるハローワーク安来、鳥取労働局のハローワーク米子さらには安来市との連携により年 2 回開催したほか、福祉分野では島根県福祉人材センターと連携により、毎月 1 回求職者と求人者が直接面談できる相談会・面談会を開催しました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、若手職員を講師とした接遇、職業訓練制度、求人票の見方（学卒求人含）、助成金制度、障害者職業紹介業務などについて研修を実施しました。さらに、松江市との一体的実施事業（ハローワークプラス）に係る研修を松江市役所担当職員及び当所職員を対象として、四半期に 1 回実施しました。

また、人材確保対策に係る研修を警備業協会専務理事を講師として実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求職者の減少傾向に伴い職業相談窓口利用者も減少する中で、職員から職業相談窓口の活性化の取組として、案内リーフレットの内容、デザイン等の見直しの提案を受け改善しました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

当所の管内の産業種別は、サービス業等の割合が高く介護、警備、宿泊業などでは慢性的な人材不足が続いている状況です。業務の一部で機械化等も進んでいるものの、人が直接携わる職種が多いため、経済の動向に関わりなく、少子高齢化も相まって人材不足の状況は継続すると見込んでいることから、現在設置している人材確保コーナーの機能強化を図り、業界の魅力発信、働きやすい職場づくりへの助言等に取り組んでいきます。

また、高校生を中心とした若年者の県外企業及び隣接する出雲市管内の大手製造業への就職が増加し、地元への就職割合が減少していますので、松江市と連携して高校生等に対する地元企業の魅力発信に引き続き取り組んでいきます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の就 職件数	マザーズハ ローワーク 事業就職率	正社員求人 数	正社員就職 件数	生涯現役支 援窓口での 65歳以上の 就職件数
実績	4,942	4,704	1,434	79.3%	96.0%	14.4%	19.0%	420	94.7%	14,644	2,270	145
目標	4,568	4,505	1,503	90.0%	90.0%	16.1%	19.2%	402	92.1%	13,688	2,084	120
目標達成率	108%	104%	95%			89%	98%	104%	102%	106%	108%	120%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク浜田 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職件数（常用）及び充足件数（常用）の目標達成を最重要と考え、重点的な取組として、求職者ベースのマッチングに取組み、求人情報を電話連絡、DM、窓口で提供するなどし、累計3,762件のマッチングに対して就職件数は364人となりました。

また、年度後半には紹介件数の低下を契機に日々の紹介件数の進捗状況を管理しながら、マッチングやミニ面接会への参加勧奨の取組を行いました。

このほか、求人充足会議開催要領を策定し、「開催スケジュール表」や「実施手順」に基づき、定期的な開催（年間47回（29年度33回）、対象求人件数102件（29年度90件））に努め、当会議において求人票以上の情報収集による求人内容の拡充、ミニ面接会への参加勧奨、求人リフレッシュ後の店内掲示などを協議・検討し、当会議参加メンバーのうちから求人担当者を定めて充足サービスのフォローアップを実施した結果、充足件数は35件となりました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

窓口職員の事業所理解及び職業理解を深め、質の高い職業相談と適格なマッチングに繋がることから、月毎に訪問責任者等を定めた「窓口担当者による事業所訪問実施要領」を策定のうえ、訪問事業所17社（参加者延べ37人）の事業所見学を実施し、過去に登録した事業所画像情報について、求人者支援員を中心に画像の更新を行い新たに52件を登録し、17件を削除しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人者が求職者へ直接PRできる場を提供し、求人の早期充足及び求職者への仕事内容理解の促進のために、「ミニ面接会」を当所会議室で定期的に開催していますが、30年度はこれまでミニ面接会の利用のなかった求人者へも求人受理時や事業所訪問時に積極的に周知を行い、138回（29年度99回）開催し、参加者304人（29年度229人）、37件（29年度30件）の充足となりました。

また、当所と外部機関（ふるさと島根定住財団）と連携し、双方の利用者の掘り起こしも兼ねて、定例企業説明会を3回開催しました（29年度1回）。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求人充足数が目標に達しなかったこと、また、求人に対する紹介率及び新規正社員求人数も年間目標には達しなかったことを踏まえて、訪問による求人開拓や職業相談窓口において求職者に対して求人票以上の情報を説明できるようにするためにも、職業相談部門職員も積極的かつ計画的な事業所訪問による情報収集を行っていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

30年度は管内事業所の廃止等による人員整理が数件発生したことから、自治体や経済団体等の関係機関と連携し、離職者（離職予定者）の支援を目的とした自治体との一体的事業としての「企業ガイダンス」を開催するなど離職者の早期再就職支援対応を行いました。

また、求職者が減少傾向にある中において、窓口利用の消極的な求職者や一定期間窓口利用のない求職者に職業相談を促進して的確な求職者サービスを提供したうえで、就職に繋げるべく「選定チームによる呼出相談実施要領」を策定し実施しました。

これらは必要かつ効果的な取組であると考えられることから、引き続き自治体との連携による取組や来所者の確保、職業相談窓口の活性化に努めていきます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	ハローワークの 紹介により、正社 員に結びついた フリーター等件数	正社員求人 数	正社員就職 件数
実績	2,050	1,828	678	96.5%	98.1%	13.9%	20.3%	384	4,894	1,015
目標	2,024	1,864	602	90.0%	90.0%	14.3%	21.0%	228	5,098	970
目標達成率	101%	98%	112%			97%	96%	168%	%	%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク出雲 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、所主要指標の目標達成のため、「求職者担当制」の取り組みを最重要と考え、特に重点的に進めることとし、自ら定める「求職者担当制実施要領」及び「求職者担当制の進め方」に基づき、支援対象者の的確な把握、双方向による求職者担当制を実施。予約相談、求人とのマッチングによる来所勧奨型紹介、応募書類の作成支援などの個別支援を実施するとともに、応募前見学を積極的に勧める取り組みを行いました。

求職者担当制の紹介率は152.5%（所全体99.5%）、担当制の紹介成功率は55.0%（所全体43.5%）と個別支援の効果が見られ、主要指標についてはいずれも目標値を上回ることができました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、職業紹介部門、事業所部門の若手職員を中心に、「職業紹介業務研修」、「派遣、請負求人取り扱いに関する研修」、「裁量労働制求人に関する研修」、「職業紹介技法及びキャリアコンサルティング資格取得研修の伝達研修」、「利用者サービスの改善に係る研修」などを実施し、利用者サービスの向上、相談技法の向上、業務に関する知識の付与を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

庁舎が狭隘であり待合スペースが十分でない中、ボイスコール機器配置の関係から、職業相談と雇用保険のそれぞれの受付窓口で個別対応をしていたため、両方の窓口を利用する場合に待ち時間が長くなるなどの問題点があったことから、総合受付で受け付けた順番で各窓口を利用できるよう受付方法、誘導方法を改善し、スムーズな流れを作るとともに待ち時間の短縮などによるサービスの改善を図りました。

また、求職活動実績メニューとして各種セミナー、面接会、各種相談会など、各月ごとに一覧にまとめ、認定日などを利用して配付することにより、求職活動実績となる支援策を効果的に周知するとともに、受給者がより利用しやすくするための取り組みを行いました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

平成30年度の利用者満足度アンケートでは、求職者の満足度91.4%に対し、求人者は75.3%と低く「案内表示」、「見やすい展示」、「わかりやすい陳列」のポイントが低かったことから、所内における各種広報資料の見やすい展示に努めてきました。今後も引き続きわかりやすく利用していただきやすい資料展示に努めてまいります。また、「迅速な求人手続き」、「求職者のより多くの紹介」、「求人条件設定情報提供」

に関する期待度が高かったことを重視し、求人者サービスの向上を図るため、積極的な事業所訪問を実施して事業所情報の収集に努めてきました。

各産業とも人手不足が続く中、求人者の満足度が低調であったことは令和元年度においても継続する課題と捉え、引き続き事業所訪問を積極的に実施し、企業と仕事に関する知識・理解を深めるとともに求職者担当制を推進することにより、更に的確な紹介に努めてまいります。

また、平成30年度はミニ面接会を6回開催しました。求人者ニーズに対応できるよう人手不足業種を中心に引き続き実施をしてまいります。

(4) その他業務運営についての分析等

平成30年度の管内の雇用情勢は、求人倍率が1.77倍であり、前年度の1.67倍を0.10ポイント上回り、特に主要産業である電子部品製造業では生産が好調なこと、小売業では大型店の開店もあり、求人数は増加傾向で推移し、ほとんどの業種において人手不足が生じました。

令和元年度にも大型小売店の開店が報じられるなど、人手不足の状態は継続するものと見込まれており、今後も求人者サービス、求職者サービスの充実を図るとともに、自治体や商工会議所等地域の関係機関との連携を深め、大量雇用変動への対応、雇用に関する各種情報等の収集・提供、自治体の要望を踏まえた共同事業の実施に引き続き取り組んでまいります。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	ハローワークの 紹介により 正社員に結 びついたワ ーカー等	正社員求人 数	正社員就職 件数
実績	3,027	2,951	1,119	75.3%	91.4%	14.5%	19.2%	57	421	8,033	1,354
目標	2,925	2,863	951	90.0%	90.0%	16.6%	20.9%	63	516	7,478	1,266
目標達成率	103%	103%	117%			87%	91%	90%	81%	107%	106%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク益田 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

求人増加と求職者の減少傾向が続く中、深刻化する人材不足問題に対応するため、『紹介件数（常用）を伸ばしていく』ことを基本方針として、以下の取組（ア～カ）を重点的に取り組んだ結果、紹介件数（常用）は2,707件、前年度比9.4%増となり、主要3指標（就職件数、求人充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）は、すべて目標を達成しました。

ア．職員による提案求人の提供サービスの強化（紹介件数1,990件、紹介件数全体に占める割合73.5%）

イ．求職者担当制支援の強化（紹介件数861件、就職件数587件、紹介成功率68.2%）

ウ．失業認定日における雇用保険受給者の全員相談

エ．給付制限期間中の者に対する認定応当日相談（紹介件数368件、就職件数190件）

オ．求人充足会議における対象求人の画像情報等の収集・所内掲示の強化（充足件数175件、充足率23.5%）

カ．求人担当制の強化（求人充足会議対象求人の紹介件数151件、充足件数60件、充足率34.5%）

また、中長期的な職員の育成を図る観点から、取組の活性化サイクルに関する研修、P D C A管理に関する研修及び益田労働基準監督署との共同研修並びに若手職員による公的職業訓練の適切な受講あっせんに関する研修を年9回実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

① 求職者サービスにおいて業務改善を図った事項は、以下（ア．イ）のとおりです。

ア．正社員就職の促進を図るため、求職者担当制のアウトカム指標として支援対象者のうち正社員就職件数の目標数を設定し、個別支援に取り組みました。（求職者担当制による正社員就職件数378件（正社員就職件数全体に占める割合54.4%））

イ．職業相談窓口の利用率向上を図るため、就職支援サービスメニューが求職者によりわかりやすいようにリーフレットを作成し、求人情報提供端末に貼付することなどによって、周知・徹底を図り、職業相談窓口を気軽に利用できるよう環境整備を行いました。

（職業相談件数は、前年度比2.9%増加の13,868件。）

② 求人者サービスにおいて業務改善を図った事項は、以下（ウ．エ）のとおりです。

ウ．正社員求人の確保を図るため、リーフレット資料「早期人材確保のコツ」を作成し、求人受理時等において、求人者に配付・助言

等に活用しました。

エ. 求人者支援を強化するため、ミニ面接会・会社説明会を年間 131 回実施し、259 名の参加者を確保しました。

(3) 今後のサービス・業務改善の取組について

- ① 求職者に対する就職支援をさらに強化するため、ハローワーク独自の応募書類添削及び面接対策の各セミナーの実施等の個別支援に取り組みます。
- ② 求人者に対する充足支援をさらに強化するため、職員による事業所訪問・職場見学の実施回数を増やして取り組むとともに、ハローワーク独自の人材確保セミナーを実施します。

(4) その他業務運営についての分析等

当所管内における求人数は、大手小売業の常用パート求人の占める割合が高いため、正社員求人の確保に苦戦している状況であることから、非正規雇用求人の正社員転換を促すなど雇用管理指導援助業務と連携し、良質求人の確保に努めてまいります。

2 総合評価 (※)

非常に良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	学卒ジョブサ ポーターの支 援による正社 員就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	1,433	1,296	438	91.1%	91.8%	15.5%	22.4%	161	3,507	695
目標	1,303	1,257	394	90.0%	90.0%	15.6%	21.4%	128	3,294	529
目標達成率	109%	103%	111%	101%	102%	99%	104%	125%	106%	131%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク雲南 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、「求職担当者制」の取組の目標達成を最重要と考え、特にマッチングの強化を重点的に進めることとし、積極的・能動的マッチングを実行するなどの取組を実践することが出来ました。

また、求人事業所の画像情報の収集については、半数を超える事業所から画像情報を収集していたが、新しい画像情報の入れ替え等を推奨し、求人応募の一助となるよう仕事内容をわかりやすく写した画像の収集を念頭に置く取り組みを行いました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、若手人材を中心とした面接支援や応募書類添削などのスキルアップに係る研修等のほか現在も実施している求人、求職者双方からのマッチング、求人の未充足検討会において更に効果・効率性を上げるための手法等を検討していくこととしています。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

今年度は積極的に事業所訪問や電話による求人開拓などを実践し、正社員求人数の目標を大きく上回ることが出来ました。

求人充足サービスをさらに進めるため、求人充足会議の充実、求人事業主を対象とした「人材確保セミナー」（ハローワークの機能、活用方法及び応募が増える求人票の作り方等）を4回実施し、参加者から概ね好評を得ています。

また、パソコンが不慣れであるため等により情報提供端末の利用を敬遠しがちな高齢者等を対象とした「シニアわーくセミナー」（求人検索機の操作方法、就職支援メニューの説明等）を4回実施しました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

今年度は求人が増加した半面、求人紹介率及び求人充足率が低下しているため、来年度は求人充足会議の更なる充実を図るなど、マッチングをより積極的に推進することとします。

(4) その他業務運営についての分析等

当所管内における求職者の減少及び高齢化率が著しいため、高齢求職者が今まで以上に活躍できるようマッチング環境を整える必要があると考えます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	公的職業訓 練修了3か 月後の就職 件数	正社員求人 数	正社員就職 件数
実績	837	663	302	87.5%	91.6%	13.5%	21.4%	40	1826	401
目標	767	595	299	90.0%	90.0%	17.3%	21.5%	26	1483	373
目標達成率	109%	111%	100%			78.0%	99.5%	153%	123%	107%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク石見大田 就職支援業務報告（平成30年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

主要指標のうち、就職件数（常用）及び充足件数（常用）の目標達成を最重要と考え、マッチング業務に重点を置いて取り組み、日々の新規求人における正社員求人、非正規求人の中で応募の可能性が高いと思料する求人及び受理後2週間経過時点で紹介件数0件の求人について、すべてマッチングを行いDM送付等の情報提供を実施しました。

また、雇用保険受給者全員相談を実施し、その際にもマッチングを行うなど情報提供を積極的に実施しました。

日々着実に取り組んだ結果、主要三指標（就職件数、充足件数、雇用保険受給者早期再就職件数）はすべて目標を達成しました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

中長期的な職員の育成を図る観点から「裁量労働制求人」及び「各種助成金について」などの研修を年9回行い、職員の資質向上に努めました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者満足度調査のアンケートでは、「ポスター、パンフ類の陳列掲示改善」に関して期待度が高かったことから、調査結果をまとめたうえで職員会議において利用者の期待度の実態を示しつつ検討を行い、「ポスター、パンフ類の陳列掲示見直し」の改善に取り組みました。

業務改善については、就職支援と充足支援の観点から下記のとおり改善を行いました。

- ・職業相談時に希望求人がない場合において、希望条件に見合った求人を3件以上提案することとし、より一層マッチングを推進しました。
- ・自社の魅力や強みがPRできるような求人票の書き方について、助言を行い積極的に充足支援を行いました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

引き続きマッチング業務を最重点業務として位置づけ、求人・求職両ベースのマッチングや求職者・求人担当制を活用したマッチング等を

着実に実施し、窓口での積極的な求人情報の提供により紹介件数の向上等に向け取り組んでいきます。

また、自治体の広報誌等を活用し、当所の就職支援メニューを広く周知するとともに、市の公民館等で企業説明会を開催するなど潜在求職者の掘り起こしに取り組みます。

(4) その他業務運営についての分析等

管内の求人事業所の人手不足解消を図るため、平成30年度はミニ面接会の開催回数を大幅に増やし53回（前年12回）開催したものの、求職者等の参加者の確保が思わしくなかったことから、今年度は自治体等との連携の一層の強化により、開催情報を広く提供して参加者の確保を図るなどの取組を行っていきます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

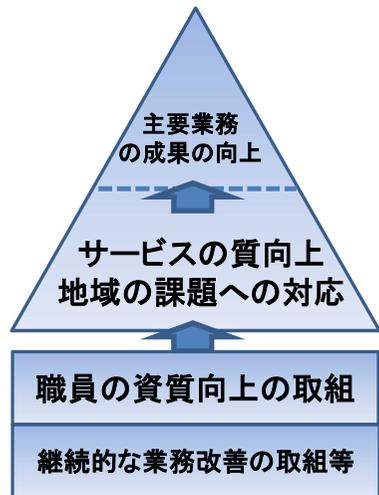
	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	フリーター等 の就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	622	540	226	81.1%	92.4%	13.0%	20.2%	102	1,582	277
目標	579	456	188	90.0%	90.0%	12.5%	21.6%	76	1,472	265
目標達成率	107%	118%	120%			104%	93%	134%	107%	104%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善を、平成27年度から一体的に実施。

PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- 現行の取組(就職率等を指標にしたPDCAサイクルによる目標管理)を拡充し、業務の質の指標を追加。
- 地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する指標を追加。
- 中長期的な就職支援の強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進。



短期的な成果の向上だけでなく
中長期的な業務の質向上・業務改善を図り
就職支援を強化

ハローワークのマッチング機能 の総合評価・利用者への公表

- 業務の成果や目標達成状況等を定期的に公表
→主要指標の実績を毎月、年度後半の取組強化のための分析を年度中に、総合評価を年度終了後に公表
- 業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組等の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。
→労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループに分け、その中で比較し評価
- ハローワークごとに実績・総合評価及び業務改善の取組等をまとめ、労働局が公表。
 - 重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表
- 労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

評価結果等に基づく 全国的な業務改善

- 評価結果等をもとに本省・労働局による重点指導や好事例の全国展開等を実施。
 - ①評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
 - ②改善計画を作成、本省・労働局が重点指導(評価期間終了後)
 - ③好事例は全国展開(評価期間終了後)
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

平成31年度公共職業安定所のマッチング機能に関する業務の各安定所ごとの目標値

安定所別	主要指標			補助指標	
	就職件数 (常用)	充足件数 (常用、受理地 ベース)	雇用保険受給者 の早期再就職件 数	求人に対する紹 介率	求職者に対する 紹介率
	件	件	件	%	%
松江所	4,403	4,292	1,415	32.8	47.3
松江本所	3,773	3,870	1,155	34.7	47.1
隠岐の島	114	107	50	17.7	41.9
安来	516	315	210	25.4	50.5
浜田所	1,856	1,626	608	32.8	54.3
浜田本所	1,626	1,418	523	34.3	55.4
川本	230	208	85	24.7	47.1
出雲所	2,657	2,650	918	33.6	53.8
益田所	1,308	1,209	393	34.6	55.9
雲南所	745	610	268	31.7	50.8
石見大田所	554	470	201	30.8	56.0
島根局	11,523	10,857	3,803	33.0	51.2

※松江所及び浜田所の内数(本所、出張所の数値)欄については参考値

安定所別	所重点指標									
	生活保護受給者等の就職件数	障害者の就職件数	学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついたフリーター等の件数	公的職業訓練の修了後3か月後の就職件数	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	正社員求人数	正社員就職件数	人材不足分野の就職件数	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
	件	件	件	件	件	%	件	件	件	件
松江所	215	420	1,418	501	241	92.7	14,842	2,107	1,122	63
本所	199	363	1,324	460	207	92.7	12,770	1,854	948	63
隠岐の島	1	9	34	6	0		581	33	39	
安来	15	48	60	35	34		1,491	220	135	
浜田所	57	139	223	280	55		5,060	921	489	32
本所	55	116	198	270	50		4,272	821	408	32
川本	2	23	25	10	5		788	100	81	
出雲所	55	219	404	368	183	92.7	8,246	1,278	675	43
益田所	45	100	129	190	45		3,512	596	338	
雲南所	28	67	86	65	21		1,807	339	202	
石見大田所	15	55	62	60	13		1,587	239	166	
島根局	415	1,000	2,322	1,464	558	92.7	35,054	5,480	2,992	138

※ は、地域の雇用に関する課題を踏まえ、安定所が特に重点的に推進し成果を挙げる必要があり、安定所が選択した業務に関する指標。

※ 松江所及び浜田所の内数(本所、出張所の数値)欄については参考値。